

## いってきまーすの、その前に！<sup>プラス</sup>



夏の高い気温は、車両に深刻なダメージを及ぼします。今回は、夏に起こりやすいトラブルの「タイヤのバースト」と「オーバーヒート」の対策について紹介します。

### タイヤのバースト

夏は、高温な路面を走り続けることでタイヤに熱がたまりやすくなります。さらに、高速走行時に空気圧が低いと「スタンディングウェーブ現象」が発生して、変形しながら回転することでタイヤの発熱量が高まり、バーストする恐れがあります。

#### 原因

- タイヤの空気圧不足
- タイヤの亀裂・損傷や異常摩耗

注) 異常摩耗がある場合は、日野整備工場で点検・整備を受けてください。

出典: 公益社団法人 全日本トラック協会「事業用トラックの点検整備ハンドブック」、日野自動車株式会社「HINO DUTROお役立ちメンテナンスガイド」、TOYO TIRE株式会社「熱はタイヤの大敵。夏のタイヤバーストに気をつけよう」

### タイヤバースト防止のポイント

- 出発前に、空気圧不足にならないように、タイヤ・ゲージで空気圧を点検し、常に標準空気圧に調整する。
- 出発前に、タイヤに亀裂や損傷、異常摩耗がないかを確認し、亀裂や損傷がある場合は速やかに新品のタイヤに交換する。



タイヤに亀裂や損傷がないか手で触って確認。



タイヤの亀裂・損傷

### オーバーヒート

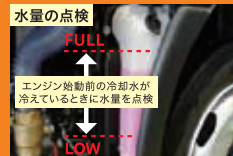
オーバーヒートとは、エンジンの発生熱量が冷却性能を上回ってしまった場合に起きるエンジントラブルです。特に、夏は高い気温の影響により、エンジン内部を冷やす冷却水が不足すると、オーバーヒートにつながります。

#### 原因

- 冷却水の不足
- 冷却水の漏れ

### オーバーヒート防止のポイント

- 出発前に、車両の下の地面が濡れていたり、水たまりがないかを確認する。
- リザーブタンク内の水量が規定の範囲内にあるかを確認し、「LOW」より下の場合は冷却水を「FULL」まで補給する。また、液量が見えにくい時は車体をゆすって確認する。



水量の点検

FULL  
↑  
エンジン始動前の冷却水が冷えているときに水量を点検  
↓  
LOW

\* 高温時は絶対にラジエーターキャップを外さないでください。熱湯や蒸気が噴き出して、やけどをするおそれがあります。  
\* リザーブタンク内が空のときは、ラジエーター本体の水量が不足しています。ラジエーターキャップを開けて給水してください。

出典: 一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)「クルマ何でも質問箱」、日野自動車株式会社「HINO DUTROお役立ちメンテナンスガイド」

普段とは異なる症状が出たら日野整備工場へ。点検・整備について詳しくはこちら

Q 日野デトロ メンテナンス